

# 安全な調理用燃料の利用を 可能にするためのミッション

## 概要

ナショナルジオグラフィック誌の記事によると、約30億人の人々が今でも調理や暖房に直火を使用しているそうです。その結果、健康への不安や火事の頻発、心神喪失のような公害など、さまざまな面で憂慮すべき事態を招いています。その時々に入りに入るものを燃料とした煙の多い火は、1時間あたりタバコ400本分（1世帯あたり）もの煙を発生させます。安全な調理用コンロではなく、直火で調理することが多い理由のひとつに、燃料を簡単に入手できない、または高価であることが挙げられます。

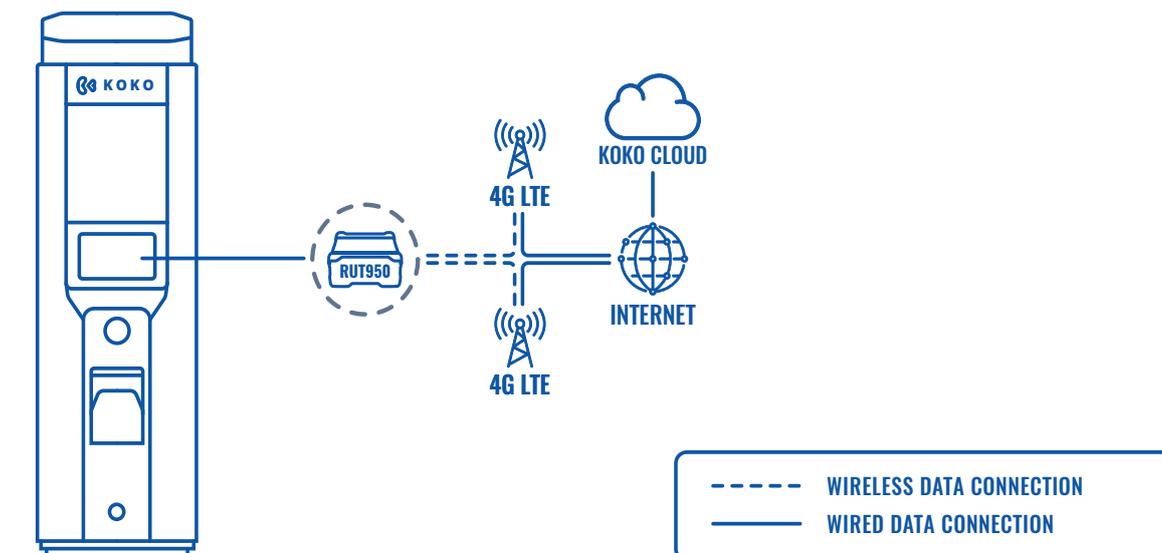
## 挑戦

パートナーであるココ・ネットワークスは、クリーンで安価、そして簡単に手に入るKOKO燃料を使いKOKOクッカーでより安全な調理を可能にするソリューションを生み出しました。燃料はバイオエタノールを変性させたもので、専用のKOKOポイントで少量ずつ購入することができます。広範囲に分布しているため、KOKOポイントをローカルで管理することは不可能であり、集中管理ソリューションが必要とされています。リモート管理によるスムーズな運用を実現するためには、安定した信頼性の高いインターネット接続が必須です。しかし、アフリカの多くの場所では、安定した接続を実現することは容易ではありません。

## パートナー KOKO

ココ・ネットワークスは、国際的な気候変動対策技術を保有する企業です。KOKOは本業において、バイオエタノールのクリーンな調理用燃料を炭よりも安全かつ安価に提供するサプライチェーンに革命を起こし、アフリカのお客様に粗悪な調理用燃料からの切り替えを促す説得力のある理由を提供しています。KOKOの革新的で拡張性の高い、世界をリードするソリューションは、公衆衛生、森林保護、気候変動、産業化に関する政府の政策目標や、国連の持続可能な開発目標のうち12項目の達成をサポートしています。

## トポロジー



## ソリューション

アフリカの不安定なネットワークのために、有線接続は検討の土俵から外れ、デュアルSIMと自動フェールオーバー機能を備えたRUT950がソリューションの最良の選択肢として選択されました。プライマリ ネットワークに問題があるときはいつでも、ルータはセカンダリ ネットワークに切り替わり、KOKOポイントをオンラインに保ちます。

RUT950は、KOKO ポイントユーザーインターフェースの接続性を提供し、取引を完了し、支払いを受け入れることを可能にします。同時に、KOKOクラウドにデータを送信し、プロセス、燃料レベル、およびシステムステータスをリモートで監視することができます。エンジニアは、必要に応じてルータとKOKOポイントにリモートでアクセスして、設定、アップデート、トラブルシューティングをおこなうことができます。電気システムに問題がある場合は、SMSを送信するだけでルータを再起動できます。

アラートは、タンク内の燃料レベルが一定量を下回ったとき、またはシステムに問題がある場合を設定できます。このようにして、ダウンタイムの可能性は完全に最小限に抑えられ、迅速かつ効率的に解決できます。

## メリット

- 2つの通信事業者を利用できるデュアルSIMと、ネットワークに障害が発生した際にバックアップオプションに切り替える自動フェールオーバー機能により、接続の冗長性を確保しています。
- セキュリティは、プリインストールされたファイアウォール、複数のVPN、アクセス制御、攻撃防御など、プロフェッショナルなアプリケーションと決済に必要な重要な要素を持ち合わせています。
- 拡張性：このソリューションは、複数の拠点に簡単かつ迅速に展開することができます。
- リモート管理システムとモバイルユーティリティによる遠隔管理。
- 導入フェーズから完了まで、経験豊富なテルトニカネットワークスエンジニアによるトップレベルのサポート。

## なぜテルトニカなのか？

ココ・ネットワークスからのコメントによると、「KOKOポイントの開発にあたり、接続機能を提供する機器をいくつか試した結果、テルトニカネットワークス製品の機能と信頼性が最も優れていると判断しました。また、カスタマーサービスやエンジニアリングサポートも非常に充実しており、我々の事業が拡大してもサポートが受けられると確信しました。」

